

授業科目	地域・在宅療養を支える看護 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次前期	1単位	講義	15時間
到達目標	1. 健康段階に応じた看護や場の移行に伴う看護の実際について学ぶ。 2. 地域・在宅療養を支える継続看護の意義や中心的役割の訪問看護について理解する。					講師
						専任教員
授業計画						
1回	1. レディネステスト 2. 地域・在宅看護の介入時期別の看護① グループワークに関するブリーフィング ①学習目標および課題 ②進め方 ③グループ編成等 *各介入時期別看護の5事例を提示する。5グループになり、各グループで1事例を選択し取り組む					
2回	地域・在宅看護の介入時期別の看護① グループワーク					
3回	地域・在宅看護の介入時期別の看護① グループワーク					
4回	地域・在宅看護の介入時期別の看護① グループワーク成果発表(PP作成・配布資料作成)・3グループ					
5回	地域・在宅看護の介入時期別の看護① グループワーク成果発表(PP作成・配布資料作成)・2グループ 全体のみまとめ					
6回	地域・在宅看護の介入時期別の看護② 2事例(終末期看護、グリーフケア) ①個人ワーク→②グループワーク→③課題内容をグループで発表→④まとめ					
7回	1. 継続看護の意義 2. 地域・在宅療養を支える訪問看護					
8回	まとめ、確認テスト					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験(100%)					
教科書	系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院					
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術					
備考	1.臨床看護総論の講義内容を復習すること。 2.事前・事後課題を教科書・講義内容・配布資料より予習・復習をすること。 3.個人・グループワークでの課題学習に取り組み、発表準備に備えること。					